# 町総合防災訓練実施報告書

日　時　　平成２７年８月２４日（月）

会　場　　中央公民館

参加者

| | | |
|---|---|---|
| 中学３年生 | ３２人 | |
| 教職員 | ３人 | （校長・防災担当・３年担当） |
| 住民（五箇字地区） | ４３人 | （防災士含まず） |
| 防災士会 | ５人 | （うち防災訓練参加住民２人） |
| 町消防隊 | １０人 | |
| 東京電力（見学） | ２人 | |
| 取材 | ６人 | （中越防災安全推進機構・柏崎日報・新潟日報） |
| 町本部 | ２人 | （権田、平田） |
| 現地本部 | ２人 | （小黒、小岩） |
| | １０５人 | |

内　容（振り返りのみ）

(1) 中学生避難所運営訓練

- 炊き出し班が、人が足らない反面、他の班は、活動が終了し、持て余している場合もあったので、２名ずつ減らした方が良い。
- 45 ㎝と 33 ㎝の鍋２つずつ使用したが、大きい鍋は火が通らないため、小分けにした方がよい。
- お茶とごみの表示は、生徒が自発的に作成していた。
- おぼんを使用してなく（炊き出し班の役割であったが、時間がなく用意できなかった）、衛生的によくないため、次回は衛生班で用意させる。
- 班長への役割周知が不徹底であったため、生徒分のアルファ米を事前に作り忘れていた。
- 次回は、炊き出し班のマスクを準備する。
- 分別があいまいであったため、プラスチックおわんのみ分けてもらい、他のプラスチックは燃えるごみで対応する。

(2) 住民避難訓練

- 警戒事象時の放送で、「落ち着いて行動するように」の「行動」の文言が、避難と思われて、避難してきた人がいたため、次回から「(屋内退避) 準備」としたほうが良い。
- 高齢者は、冷たいお茶は飲めないとのことで温かいものの配慮も必要か。

(3) 普通救命講習

- ＤＶＤ視聴中、居眠りする人もいたので、工夫が必要。

(4) 全体を通して

- 中学生が集まり訓練開始時（教育長）と地域住民の避難完了時（町長）はあいさつがあった方が、啓発効果が高まる。

中学校避難所運営訓練

総務班　　行政区区分け

スリッパ準備

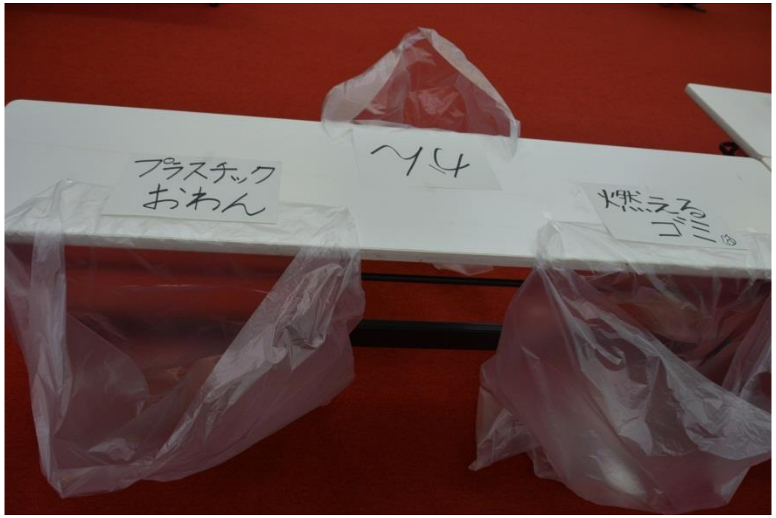
受付

## 衛生班

避難所掃除

お茶準備

ごみ分別




お茶配給

物資班

物資確認

管理簿記入

物資配給

アルファ米作り方説明

炊き出し班

# 住民避難訓練

住民避難

原子力講座

炊き出し配給

# 普通救命講習

# 消火器取扱説明会